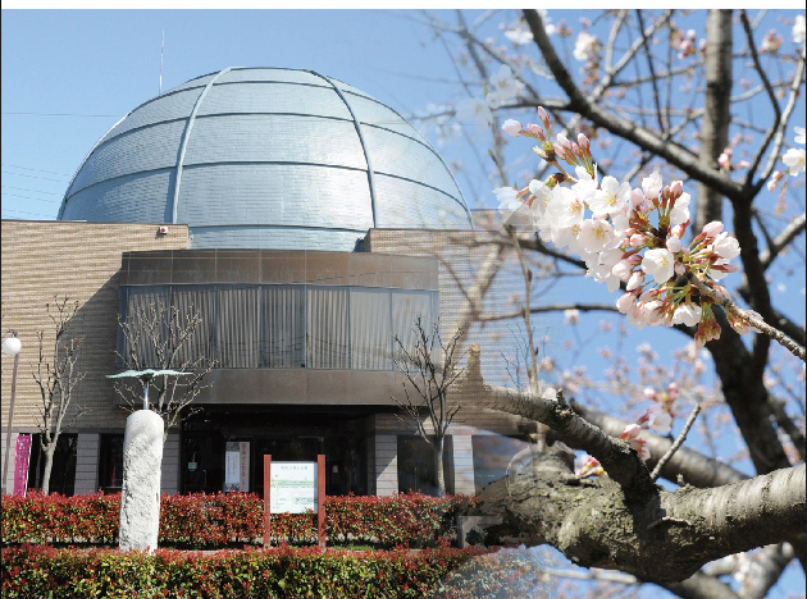


博物館だより 2017年 春号 *The Museum Letter*

| 葛飾区郷土と天文の博物館 | Katsushika City Museum



Contents

館前



夜の館前広場



光を浴びながらひとやすみ

2F



オリオン座に光るタイル

博物館

Night

&

Day

天気の良い朝、ステンドグラスの美しい光が降りそそぎ、夜はエントランス前にあるタイルの星座が輝きます。

展示室以外にも見どころがたくさんの博物館！

今号は、何度も博物館に来てくださっている方も、何気なく通りすぎてしまっているかもしれない展示物以外のいろいろなスポットや、週末のみ公開している5階の天体観測室、昨年の夏にリニューアルした体験学習室の旧教育資料館資料展示を紹介します。

No.

117

毎週金曜日と土曜日、当博物館は夜の9時まで開館しているのをご存知ですか？ 日が暮れたあとのエントランスは、正面の飾り熊手が、ひときわ明るく、皆さまのご来館をお待ちしています。



光る星座絵

博物館前の歩道には、星座を形どったタイルが埋め込まれていて、夜になるとそれぞれの星座がきらきら光ります。4つのタイルには、四季の代表的な星座が選ばれています。夜ご来館される方は、足元のお星さまにもご注目ください。



博物館 Night & Day

館前モニュメント

館前広場にある球体のモニュメント。館内から見ると、広い空が映ります。撮影スポットにされる方も多いこのモニュメント、夜には明るい惑星が映りこむこともありますよ。



博物館の中から見ると...



夜の館前モニュメント



昭和30年代広場

2階には、昭和30年代の住居が再現されています。その横には、ベーゴマや、けん玉、お人形、将棋盤、盤ゲームなど、その時代のおもちゃで遊べる広場があります。子どもからお年寄りまで楽しめるスペースです。



流れ星が光る 小さなお部屋

この星空は？もちろんプラネタリウム！…ではありません。エレベーターの天井です。1階から3階まで、およそ30秒をかけて皆さまを運ぶ冬の星空です。



5階 天体観測室

エレベーターに乗ると、5階のボタンがあるのに行くことができなくて「？」と思ったことはありませんか？金曜と土曜の夜に公開している天体観測室のドームが、博物館で一番高い5階にあります。その中には、大きな望遠鏡が設置され、惑星やさまざまな星たちを見ることができます。

お天気の良い週末には、「かつしか星空散歩」へどうぞ。ボランティアスタッフが、この望遠鏡で東京の夜空の見どころをご案内いたします。

★ **かつしか星空散歩** ★
毎週金曜・土曜日 午後7時30分～8時30分
★ 料金 入館料のみ（裏面をご覧ください） ★

- ・祝日、お天気の悪い日はお休みします。
- ・お客様の多い日はお待ち頂く場合がございます（お待ちの間、ボランティアスタッフが星のお話をいたします）。
- ・車椅子をご利用の方もご参加いただけます。



朝のステンドグラス

2階から3階へと続く階段の壁面には、大きなステンドグラスがあります。東側から朝日が差しこみ、晴れた日の開館直後にいらっしゃる方はその美しい光景をみることができます。

ステンドグラスの間の壁には、開館したときは、まだ未来だった21世紀の第一日目、2001年1月1日の惑星と軌道が埋め込まれています。



ニコン製の口径25cm屈折クーデ式天体望遠鏡



下についている太いしめ縄を作る農家も葛飾区にたくさんありました。

博物館

Night
&
Day



時鐘
(授業の始終に鳴らした)



一年生の教科書 明治33(1900)年

旧教育資料館 収蔵資料展示 (1階体験学習室)

旧教育資料館は、大正14(1925)年に建てられた水元尋常高等小学校の校舎を移築復元したもので、古い教育資料などを展示していましたが、耐震性などの問題から昨年3月に公開を終了しました。昨年8月に、博物館1階の体験学習室をリニューアルし、展示スペースを設け、旧教育資料館が収蔵していた資料を「かつしか学びの玉手箱」として展示しています。

現在は、江戸時代から現代までの教科書や副読本、昭和初期の卒業証書や成績表、そろばんなどの学用品を展示しています。また、旧校舎の建築や移築に関わる資料も展示しています。

より多くの資料をご覧いただけるよう、このたび展示ケースを増設しました。また、6月には2階特別企画展示室にて教育資料を中心とした展覧会を予定しています。貴重な教育資料をぜひご覧ください。

大きな大きな飾り熊手

エントランス正面に飾られている「飾り熊手」は、区内在住の清田敏雄さんが制作したもので、高さ約4メートル、幅約2.5メートルあり、西の市などで売られているものと比べても、最も大きい熊手のひとつです。葛飾区では明治時代から、農家の副業としてこのような飾り熊手を作る人が多くいました。



階段の花菖蒲

エントランスから2階へ行く階段には、かつしかの花である花菖蒲の絵がマッピングされています。この絵は「かつしか郷土かるた」の外箱に使われているもので、世界的な切り絵画家の辰己雅章さんによるものです。毎年冬に2階特別企画展示室で原画展を開催しています。



「かつしか郷土かるた」
1セット500円
1階ミュージアムショップで販売しています。

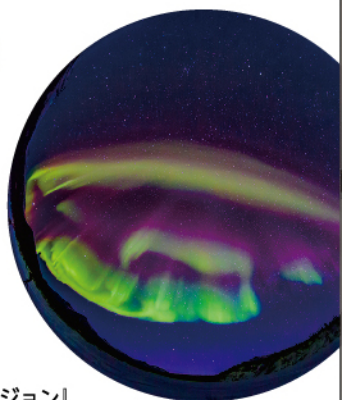


公開当時の旧葛飾区教育資料館



プラネタリウムのご案内

4月23日(日曜日)までの番組



季節の番組

■『オーロラ・光降りそそぐ夜』

アンコールアワー

■『LIVE STARS—星は生きている—』

(14:30の回)

■『太陽系のフロンティア』

(17:30の回)

こども番組

■『かつしかドームステーション 木星バージョン』

	11:30	13:00	14:30	16:00	17:30
土曜日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	アンコールアワー
日曜・祝日	こども番組	季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	
平日	学校・団体利用			季節の番組	
3/24(金)から4/5(水)までの平日		季節の番組	アンコールアワー	季節の番組	

※投映開始後のご入場はできませんので、お早めにご来館ください。

葛飾区郷土と天文の博物館ご利用案内

開館時間

午前9時～午後5時

(金・土曜日は午後9時まで開館。ただし金・土曜日が祝日の場合、午後5時に閉館。入館は閉館の30分前まで)

休館日

月曜日、第2・4火曜日

(月曜祝日は開館。火曜祝日は開館し翌平日休館)

入館料

大人 100円 小・中学生 50円 幼児無料

(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

プラネタリウム 観覧料

大人 350円 小・中学生 100円

幼児(座席を使う場合) 50円

(毎週土曜日は中学生以下無料。20人以上の団体は2割引)

年間 パスポート

大人 2,000円 中学生以下 700円

購入から1年間、入館とプラネタリウムが見放題になる大変お得なパスポートです。購入時にご希望があれば、「博物館だより」(年3回発行)を1年間お送りします。

プラネタリウムは平成29年11月から平成30年5月まで改修に伴い休映いたします。また、その他の天文関連施設も期間は未定ですが、併せて改修を予定しており、改修の期間はご利用いただけません。なお、改修に伴う年間パスポートの有効期間の延長はございませんのでご了承ください。

アクセス



電車 京成線「お花茶屋」駅から徒歩8分

JR常磐線「亀有」駅から徒歩25分

バス ① レインボーかつしか(有71・有72系統)

又は京成タウンバス(有70系統)で

「白鳥わかば公園」バス停下車 徒歩3分

(有71 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか)

(有72 亀有駅南口～ウェルビアかつしか)

(有70 金町駅南口～亀有駅南口～ウェルビアかつしか 又は 葛飾区役所)

② 京成タウンバス(有57系統)で「上千葉小学校」バス停下車 徒歩5分

③ 京成タウンバス(有57系統)で「共栄学園」バス停下車 徒歩5分

(有57 亀有駅南口～葛飾区役所～タウンバス車庫)

博物館だより

発行

葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

電話 03-3838-1101 FAX 03-5680-0849

<http://www.museum.city.katsushika.lg.jp/>

この印刷物は、印刷用の紙にリサイクルできます。